

科目名	病態学Ⅱ		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師		1年次	後期	30時間	1単位
科目設定理由	患者の看護を適切に行うには、看護援助の知識に加え、その患者の身体にどのような異常が生じているのか、またその異常が患者にどのような苦痛や障害を引き起こしているのかを理解しなければならない。そして、損なわれた生理機能を回復したり、失われた機能を補填するにはどうすればよいかを知り、治療や援助にどうつなげるかを考える根拠を知ることが重要である。そこで、解剖生理学で学習した正常な生理機能の知識を踏まえ、疾患により障害された部位への影響と疾患により発生する症状のメカニズム、検査・診断・治療について学ぶため当該科目を設定した。					
学習目標	疾患により障害された消化器系、脳・神経系、運動器系への影響と、疾患により発生する症状のメカニズム、検査・診断・治療について理解する					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容				備 考
1	上部消化管の疾患の病態と診断・治療	1 炎症性疾患 (1)逆流性食道炎 (2)急性・慢性胃炎 (3)ヘリコバクターピロリ感染症				講義
2		1 潰瘍性疾患 (胃潰瘍、十二指腸潰瘍) 2 腫瘍 (食道がん、胃がん)				講義
3	下部消化管の疾患の病態と診断・治療	1 炎症性疾患 (1)潰瘍性大腸炎 (2)クローン病 (3)虫垂炎 (4)痔瘻				講義
4		1 イレウス 2 腫瘍 (大腸ポリープ、結腸がん、直腸がん)				講義
5	肝臓・胆嚢・膵臓の疾患の病態と診断・治療	1 炎症性疾患 (1)肝炎 2 肝硬変 3 脂肪肝、アルコール性肝炎 4 腫瘍 (肝がん)				講義
6		1 炎症性疾患 (1)胆管炎 (2)膵炎 2 胆石症 3 腫瘍 (胆嚢がん、胆管がん、膵がん)				講義
7	腹壁・腹膜・横隔膜の疾患の病態と診断・治療	1 鼠径ヘルニア 2 腹膜炎 3 横隔膜ヘルニア				講義
8~10	神経系の疾患の病態と診断・治療	1 認知症 2 ギランバレー症候群 3 圧迫神経障害、顔面神経麻痺、自律神経失調症 4 筋ジストロフィー 5 変性疾患 (1)パーキンソン病 (2)ALS 6 脱髄疾患 (多発性硬化症) 7 感染症 (1)脳炎 (2)髄膜炎				講義
11~12	脳疾患の病態と診断・治療	1 脳血管障害 (1)脳出血 (2)脳梗塞 (3)くも膜下出血 2 頭蓋内圧亢進症 3 頭部外傷、脊髄損傷 4 機能的疾患 (てんかん) 5 腫瘍 (脳腫瘍)				講義
13~14	骨・関節の疾患の病態と診断・治療	1 骨折、脱臼、捻挫 2 骨粗鬆症 3 腫瘍 (骨肉腫) 4 変形性関節症、腰痛症 5 炎症性疾患 (1)骨・骨髄炎 (2)関節炎 6 関節リウマチ				講義
15	試験					
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5] 消化器			南川 雅子 他	医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[7] 脳・神経			井手 隆文 他	医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[10] 運動器			田中 栄 他	医学書院	
	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論			北川 雄光 他	医学書院	
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験					